

令和4年度 第21回政策推進会議報告

日 時 3月2日 9時35分～10時45分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

1 尼崎版シティプロモーション推進指針の改定について

総合政策局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・(森山副市長) 尼崎市へのマイナスイメージについて、特にSNSなどネット上の情報に関してはコントロールすることは難しいが、いわゆる一般マスコミについては広報課と各局が連携してしっかり対処していく。ネット上で誤った情報が広がるのであれば、それを上塗りできるような良い情報をしっかりと出すことによって、尼崎市をしっかりとアピールしていきたい。

・(市長) シティプロモーションは非常に広い概念で、おそらく市役所の仕事全てがシティプロモーションだと思っている。お饅頭理論ということで、おそらく市民から見たときのまちのイメージというのは、例えばかなみ新地の件や、暴力団事務所を作らせないこと、ゴミのポイ捨てがなくなる、歩きタバコがなくなるとか、そういう一つひとつ目に見えるものが非常に大きく関連していると思う。マナー向上推進チームを4月から作り、しっかりそこでイメージが向上するようなことも意識しながら、今言ったような対策をしっかりと進めていき、これから工事が行われる阪神尼崎駅前も大きくイメージが変わっていくなど、中身のある取組を着実に進めることがすごく大事なことである。また、選挙を通じて感じたのが、市内ではいろいろと政策的な議論が行われているものの、多くの市民の市役所に対するイメージは、窓口での印象がすごく強い。例えば住民票を取りにいったときの職員の対応とか、福祉関係の手続きに行ったときの対応とか、そういうところのイメージというのはすごく市民の方には残ると思うので、窓口でもしっかりと市民に誠実に対応できるような取組を行う必要があると思っている。

2 尼崎市文化ビジョン(第2次)(素案)に対する市民意見公募手続の結果及び同ビジョン(案)の策定について

総合政策局長から資料に基づき報告。

3 第3次尼崎市配偶者等からの暴力(DV)対策基本計画(素案)に対する市民意見公募手続の結果及び同計画(案)の策定について

総合政策局長から資料に基づき報告。

4 尼崎市障害福祉計画(第7期)の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・(市長) 今回見直しを行う「障害福祉計画」については、計画期間の異なる「障害者計画」を一体的に策定しているという説明であったが、今回は「障害福祉計画」部分だけを見直すということか。

- ・(健康福祉局長) まず「障害者計画」とは障害者基本法に基づく6か年計画で、これは総合的な市の施策の方向性を定めるもの。そして今回見直しを行う「障害福祉計画」とは障害者総合支援法に基づく3か年計画で、これは障害者計画を軸とした実施計画、事業計画のようなイメージで策定するもの。今後、法改正を受けて新たなサービスができたり、基盤整備を進めていくにあたり、今回、そのサービス量の見込みや進め方について策定する。
- ・(市長) イメージとしては、総論としての障害者計画、各論つまり実施計画としての障害福祉計画があり、今回は実施計画を主に見直す。ただ場合によっては総論の部分も修正する可能性があるということでしょうか。
- ・(健康福祉局長) その通り。今回はあくまでも障害福祉計画の見直しということで進めるが、法改正なども踏まえた事業量の見込みを立てる中で、障害者計画に影響する可能性もある。

5 (仮称) 尼崎市総合交通計画の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

都市整備局長から資料に基づき報告。

6 その他

- 総合政策局長から、令和5年度施策評価表等の作成について説明。
 - 総合政策局長から、ブランドブック第3弾の発行について説明。
 - 総合政策局長から、市公式ホームページのリニューアルについて説明。
 - 総合政策局長から、AMANISM（アマニスム）サイトのオープンについて説明。
 - 総合政策局長から、あまがさき春の音楽祭の開催について説明。
- ・(森山副市長) あまがさき桜マップについて。まだ現物ができていないが、市内の桜の名所100ヶ所を紹介するマップができた。緑化公園協会が作成したもので、いろいろなところに配布させていただきたいと思っている。桜の匂がもうすぐ来る中で次回の政策推進会議では遅くなってしまう場合もあるので、今日説明させていただいた。
 - ・(森山副市長) 本日はシティプロモーション指針の話など広報関係に関する話題がたくさん出た。マイナスイメージを消していくことも必要だが、良い情報をどんどん発信していくことも大事だと思うので、これからも各局それぞれご協力をお願いしたい。
 - ・(市長) 広報関係はSNSなども大事だが、結局SNSは個人発信が強いところがあって、市に大事なものはホームページだと思う。ホームページは今回、広報課がいろいろ工夫されてリニューアルされるが、各ページの見やすさは各課で工夫する必要があり、何回もクリックしないとアクセスできないのではなく、できるだけ浅いところで概要がわかるようにする、といった工夫は一人ひとりの職員の意識にかかっているので、広報課の仕事と思わずに、各課にはできるだけ市民の皆さんにわかりやすい形で情報を掲載するよう周知いただきたい。
 - ・(森山副市長) 一人ひとりが広報マンであるという意識を持ち、わかりやすい情報発信に注力するようお願いしたい。

以上